

# 学校の特徴

河瀬小学校は、今年創立118周年の伝統ある小学校です。子ども達は、休み時間ともなると、広い運動場いっぱいになり、ドッジボールやキックベースボールなどを楽しんでいます。

春には、メイン花壇でとてもきれいな花が咲き誇りました。FBCのすみれ賞に選ばれました。



本校では、地域との深い交流を実践しています。1年生は生活科で老人クラブの方と、5年生では総合的な学習でわら細工等で地域の方と一緒に活動しています。

この写真は1年生と地域の方の交流の写真です。折り紙やカロム、おはじきなど老人クラブの方に教えていただきながら、一緒に楽しい時間をすごした時の様子です。

右の写真は、3年生の校外学習の様子です。琵琶湖博物館では、滋賀県で長く続いた民家での生活を体験することができました。洗濯や餅つき、料理の仕方などを調べる活動の様子です。昔の住居や道具にふれることで、深く探求することができました。



この写真は、5年生・6年生が力を合わせて運動会の組体操を演じているところです。この高学年のがんばりが、河瀬小学校を支えています。



# 校内研究

## 校内研究・研修

### (1) 研究主題について

教科等	研究主題	記事
生徒指導	一人ひとりが主体的に生きて輝く、学びの姿を求めて 「互いに尊重し合える人間関係を育むために」	

### (2) 主題設定の理由

平成17年度までの3間、本校では集団の中での一斉指導ではどうしても教育効果が上がらず学習活動にも入りにくくしかも他の児童に影響を及ぼすこともあるという児童を対象に、その実態把握を進め、児童理解のための研究をすすめ、効果的な支援のあり方を探った。

平成18年度はこの成果を受け継ぎ、

特別支援推進部会 (課題をもつ児童の実態把握につとめ、具体的な支援のあり方を探る)
教科教育推進部会 (基礎・基本の学力の定着を図り、国語科の授業実践を通して聞く、書く、話す力の育成を図る)
生徒指導推進部会 (集団学習での学習規範・生活規範の確立をめざす)

の三つの方向から、本来子どもたちが持っている、「生き生きと学び、楽しく暮らしたい」という願いの実現のために、一人ひとりの子どもの良さを生かし可能性をのばすための指導・支援のあり方を探った。そして、この成果の一部は、「彦根中学区子ども輝き人権教育推進事業」の取組でも交流され、その取組に生かされることとなった。

平成19年度は、この研究を受け継ぎ、「彦根中学区子ども輝き人権教育推進事業」の取組と連携することによって、本校の研究がさらに広がるものとなることを期して進められた。

本年度はこれまでの研究成果をふまえ、本校教育目標「ひろい心をもち創造性豊かにたくましく生きる児童の育成」の具現化をめざし、子どもたちが進んでいく彦根中学校、さらには地域社会を念頭に置いて研究を深めていくことにしたい。つまり、子どもの課題を明らかにし、一人ひとりの良さを引き出し、互いに認め合える学級集団を作ること、主体的に学び合える授業を創出すること、そして、その子どもたちを支える家庭への支援や地域への働きかけ方を考えることを中心に据えて研究を推進していくこととする。研究主題を「一人ひとりが主体的に生きて輝く、学びの姿を求めて」とし、副主題を「互いに尊重し合える人間関係を育むために」とした理由である。

### (3) 研究内容

互いに認め合い、自分の思いが安心して表出できる学級集団作りにつとめる。

自分の思いを豊かに正しく伝える、生きて働く表現力(書く力を含む)の育成につとめる。

学習活動に入りにくい児童の継続的な実態把握と児童・家庭への支援を進める。

4 . 過去 5 年間の研究主題及び指定研究歴（市町村教育委員会の指定を含む）

平成 1 5 年度 一人ひとりが主体的に、生きて輝く学びの姿を求めて  
ニーズにあった支援のあり方

平成 1 6 年度 一人ひとりが主体的に、生きて輝く学びの姿を求めて  
ニーズにあった支援のあり方

平成 1 7 年度 一人ひとりが主体的に、生きて輝く学びの姿を求めて  
ニーズにあった支援のあり方

平成 1 8 年度 一人ひとりが主体的に、生きて輝く学びの姿を求めて  
個にあった指導・支援のあり方

平成 1 9 年度 一人ひとりが主体的に、生きて輝く学びの姿を求めて  
互いに尊重し合える人間関係を育むために

# 1 学校経営管理全体計画（構想）

